

美濃市古城山環境保全モデル林で 「森づくりのためのはじめてのチェーンソー体験」が開催されました

令和3年10月17日(日)に、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林(ふれあいの森)で、古城山環境保全モデル林連絡協議会主催による「森づくりのためのはじめてのチェーンソー体験」が開催され、4組10名(うち子供1名)が参加されました。

この日体験に使用した林は、スギ・ヒノキの人工林です。はじめてチェーンソーを使う人の安全に配慮し、体験する立木は、スタッフによりあらかじめ上部を切り落としてあります。

参加者は熟練したスタッフの指導を受けて、受け口を付ける練習から始めました。慣れないため、何度も受け口の練習をしていました。中には上手にチェーンソーを扱う参加者もいて、スタッフも驚いていました。

昼食後、参加者は、木のコースター用に丸太を薄い輪切りにして持ち帰っていました。

昼食はシェフが作った、薪を使って竈で炊いたおかかご飯と、あたたかい豚汁をおいしくいただきました。

後日、この林に実のなる木を植栽するイベントを開催する予定です。



管理棟前で開会式



体験用の立木は、あらかじめ上部を切断



指導者がついて、受け口の練習



上手に受け口を付ける参加者も



昼食風景



昼食後は丸太をコースター用に輪切りに

「普段経験できないことができて、楽しかった。」、「チェーンソーは思ったより軽く、振動もなかった。」、「手に力が入ってうまくいかなかった。」等の感想をいただきました。